

中小企業景況調査報告書

平成28年度第2・四半期（7～9月）

山内一豊



Kazutoyo Yamachi

生 年 1545年(天文14)
没 年 1605年(慶長10)
享 年 61歳
出身地 尾張國黒田
幼 名 辰之助

郷土が生んだ戦国武将
「山内一豊」出生の地

黒田城跡



Site of Karoda Castle

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施（方 法） 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所。

- V. 調査対象企業 次の表のとおり
の業種

（1）景況調査対象事業所（100）の内訳

業 種	事業所数
建 設 業	7
製 造 業	61
（繊維製造業）	（49）
（その他製造業）	（12）
卸 売 業	12
小 売 業	11
サービス業	9
合 計	100

（2）繊維製造業対象事業所（49）の内訳

業 種	事業所数
撚 糸 業	6
織物製造業	22
染色整理加工業	8
縫製加工業	3
そ の 他	10
合 計	49

- VI. 分 析 方 法
1. D I（Diffusion Index）分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. D I 分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

- VII. 分 析 項 目
1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前 期 比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り

- VIII. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

1位3ポイント
2位2ポイント
3位1ポイント

今 期 の 概 況

業況は 5 期連続悪化している。

1. 前年同期比 D I 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、従業員の DI 値で、前期実績横ばい、業況、売上、採算、資金繰りの DI 値で、前期実績を下回った。

来期は、業況、売上、採算、従業員の DI 値で、今期実績を上回り、資金繰りの DI 値で、今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

- 業況 DI 値は、前期実績▲21.0 から▲28.0 (7.0 ポイント減) となり、来期は▲18.0 (10.0 ポイント増) となる見通し。
- 売上 DI 値は、前期実績▲16.0 から▲34.0 (18.0 ポイント減) となり、来期は▲15.0 (19.0 ポイント増) となる見通し。
- 採算 DI 値は、前期実績▲16.0 から▲27.0 (11.0 ポイント減) となり、来期は▲17.0 (10.0 ポイント増) となる見通し。
- 資金繰り DI 値は、前期実績▲9.0 から▲11.0 (2.0 ポイント減) となり、来期は▲13.0 (2.0 ポイント減) となる見通し。
- 従業員 DI 値は、前期実績▲4.0 と同様、横ばいとなり、来期は▲3.0 (1.0 ポイント増) となる見通し。

繊維製造業の状況

- 今期(表 2、5 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべての DI 値で、前期実績を下回った。
- 来期は、業況、売上、採算の DI 値で、今期実績を上回り、資金繰り、従業員の DI 値で、今期実績を下回る見通し。

2. 前期比 D I 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況、売上、資金繰りすべての DI 値で、前期実績を下回った。

指標別の状況

- 業況 DI 値は、前期実績▲4.0 から▲26.0 (22.0 ポイント減) となった。
- 売上 DI 値は、前期実績▲3.0 から▲15.0 (12.0 ポイント減) となった。
- 資金繰り DI 値は、前期実績▲7.0 から▲12.0 (5.0 ポイント減) となった。

繊維製造業の状況

- 今期(表 9、10 参照)は、業況、売上、資金繰りすべての DI 値で、前期実績を下回った。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(39 件、27 事業所)に比べ件数、事業所とも横ばい。

- ① 今期の実績(表 4、6 参照)は 38 件(26 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』9 件、『OA 機器』7 件、『車両・運搬具』6 件となっている。
- ② 来期の計画(表 4、6 参照)は 25 件(17 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』8 件、『OA 機器』5 件、『車両・運搬具』4 件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（建設業）

当業界は好景気であるが、人手不足のため、自社での人材確保が困難な状況で受注拡大は難しい。今後の見通しについても不透明である。

B 社（製造業 <燃糸>）

原材料価格はじわじわ値上がりしている。今後も横ばいか値上げが予想される。さらに、10月からは最低賃金も845円と今年に比べ25円アップし、コストばかり増加している。

C 社（製造業 <織物>）

当産地においては、秋冬物商戦は例年より早く終わり、現在は閑散としている。当社においても、売上は前年比減少しており、かつ粗利益率も低下していることから、減益予想している。

D 社（製造業 <織物>）

OLなどをターゲットとしたややファッション性の高い衣料を扱っているため、取引先であるアパレルメーカーからの評価も高く、相応の利益を確保できている。

E 社（製造業 <染色>）

例年なら、7月～お盆前にかけて忙しい時期だが、今年はアパレルからの受注はさほど多くはなく、前年同期比で売上・利益とも減少している。今後も、同様な傾向が続くと思う。これは、①個人消費が盛り上がりを欠いていること、②昨年の暖冬の影響で、在庫がはけない状況であることなどの理由による。

F 社（製造業 <縫製>）

業界は、少子化の影響から市場は縮小傾向にある。当社の業況は、同業他社の廃業があること、熟練技術者確保という長期的課題はあるものの、現状、技術力、設備など確保しており、一定量の受注は確保している。

G 社（製造業 <食料品>）

前年同期と比べ売上は減少した。しかし、前年同期が一時的に良かったため、一昨年の同期に比べると不変である。台風の影響で冬野菜の価格が高騰すると、当社製品の使用量が増えるため売上増加が期待される。

H 社（卸売業）

毎年、7月に受注量のピークを迎えるが、今年は5月をピークに6・7月は減少している。これは、昨年の暖冬による影響から定番品、無地商品の在庫が残っているからである。売上増大策としては、繊維業界内で新規顧客開拓するか、繊維業界外への販売をするかだが、価格競争も激しく、なかなか困難である。

I 社（サービス業）

前期はサミット開催の影響から売上が増加したが、今期は大きなイベントもなく、前年同期比不変である。娯楽施設（パチンコ、カラオケ等）やスーパーが元気がないため、業況は改善しない。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比 ～

	H27. 7～9月	H27. 10～12月	H28. 1～3月	H28. 4～6月	今 期 H28. 7～9月	来期の見通し H28. 10～12月
業 況	▲10.0	▲12.0	▲17.0	▲21.0	▲28.0	▲18.0
売 上	▲ 5.0	▲10.0	▲20.0	▲16.0	▲34.0	▲15.0
採 算	▲ 5.0	▲16.0	▲22.0	▲16.0	▲27.0	▲17.0
資金繰り	▲12.0	▲12.0	▲12.0	▲ 9.0	▲11.0	▲13.0
従 業 員	3.0	2.0	▲ 1.0	▲ 4.0	▲ 4.0	▲ 3.0

景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比 ～

	H27. 7～9月	H27. 10～12月	H28. 1～3月	H28. 4～6月	今 期 H28. 7～9月	来期の見通し H28. 10～12月
業 況	▲12.5	▲14.6	▲20.8	▲30.6	▲46.9	▲36.7
売 上	▲10.4	▲18.8	▲25.0	▲24.5	▲49.0	▲36.7
採 算	▲ 4.2	▲12.5	▲25.0	▲20.4	▲38.8	▲30.6
資金繰り	▲14.6	▲12.5	▲14.6	▲16.3	▲18.4	▲24.5
従 業 員	14.6	8.3	▲ 4.2	4.1	▲ 8.2	▲12.2

業 種 別 集 計 表 (全業種100事業所)

～ 前 年 同 期 比 ～

表 3

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	1 (0)	3 (5)	1 (2)	1 (1)	3 (2)	9 (10)	▲ 28.0
	不 変	5 (6)	30 (35)	8 (7)	7 (8)	4 (6)	54 (62)	
	悪 化	1 (1)	28 (21)	3 (3)	3 (2)	2 (1)	37 (28)	(▲18.0)
売 上	増 加	2 (2)	6 (9)	1 (1)	2 (1)	3 (3)	14 (16)	▲ 34.0
	不 変	2 (3)	22 (28)	7 (8)	4 (8)	3 (6)	38 (53)	
	減 少	3 (2)	33 (24)	4 (3)	5 (2)	3 (0)	48 (31)	(▲15.0)
採 算	好 転	1 (0)	2 (5)	0 (1)	1 (1)	1 (1)	5 (8)	▲ 27.0
	不 変	5 (5)	36 (39)	10 (9)	6 (8)	6 (6)	63 (67)	
	悪 化	1 (2)	23 (17)	2 (2)	4 (2)	2 (2)	32 (25)	(▲17.0)
資 金 繰 り	好 転	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	5 (5)	▲ 11.0
	不 変	7 (6)	48 (45)	11 (11)	8 (9)	5 (6)	79 (77)	
	悪 化	0 (1)	11 (13)	1 (1)	3 (2)	1 (1)	16 (18)	(▲13.0)
従 業 員	増 加	0 (0)	7 (5)	1 (0)	0 (0)	3 (3)	11 (8)	▲ 4.0
	不 変	6 (6)	44 (49)	9 (10)	11 (11)	4 (5)	74 (81)	
	減 少	1 (1)	10 (7)	2 (2)	0 (0)	2 (1)	15 (11)	(▲3.0)

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設 備 投 資	今 期	実施した ※1	26	来 期	計画している ※2	17
	(事業所数)	実施していない	74	(事業所数)	計画していない	83

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土 地	1 件	0 件	5. 付 帯 施 設	3 件	3 件
2. 工 場 建 物	5 件	0 件	6. O A 機 器	7 件	5 件
3. 生 産 設 備	9 件	8 件	7. 福 利 厚 生 施 設	4 件	3 件
4. 車 両 ・ 運 搬 具	6 件	4 件	8. そ の 他	3 件	2 件
複数回答可			合 計	38 件	25 件

業 種 別 集 計 表 (繊維製造業49事業所)

～ 前 年 同 期 比 ～

表 5

	事業所数	6	22	8	3	10	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	▲ 46.9 (▲36.7)
	不 変	3 (4)	7 (11)	4 (3)	2 (3)	6 (6)	22 (27)	
	悪 化	2 (1)	14 (10)	4 (5)	1 (0)	4 (4)	25 (20)	
売 上	増 加	1 (2)	2 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	4 (5)	▲ 49.0 (▲36.7)
	不 変	3 (3)	7 (10)	2 (3)	2 (2)	3 (3)	17 (21)	
	減 少	2 (1)	13 (11)	6 (5)	1 (0)	6 (6)	28 (23)	
採 算	好 転	1 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	2 (2)	▲ 38.8 (▲30.6)
	不 変	3 (5)	13 (13)	3 (4)	2 (2)	5 (6)	26 (30)	
	悪 化	2 (1)	9 (8)	4 (4)	1 (0)	5 (4)	21 (17)	
資 金 繰 り	好 転	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	▲ 18.4 (▲24.5)
	不 変	4 (5)	18 (16)	5 (5)	3 (3)	6 (6)	36 (35)	
	悪 化	1 (1)	4 (6)	2 (2)	0 (0)	4 (4)	11 (13)	
従 業 員	増 加	0 (0)	2 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	4 (1)	▲ 8.2 (▲12.2)
	不 変	5 (5)	19 (20)	5 (6)	2 (3)	6 (7)	37 (41)	
	減 少	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	4 (3)	8 (7)	

※ 採算は経常利益で判断

新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6

設 備 投 資	今 期	実施した ※1	15	来 期	計画している ※2	8
	(事業所数)	実施していない	34	(事業所数)	計画していない	41

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土 地	0 件	0 件	5. 付 帯 施 設	1 件	0 件
2. 工 場 建 物	2 件	0 件	6. O A 機 器	4 件	1 件
3. 生 産 設 備	6 件	6 件	7. 福 利 厚 生 施 設	2 件	1 件
4. 車 両 ・ 運 搬 具	1 件	0 件	8. そ の 他	2 件	1 件
複数回答可			合 計	18 件	9 件

景 況 の 推 移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前 期 比 ～

	H27.7～9月	H27.10～12月	H28.1～3月	H28.4～6月	今 期 H28.7～9月
業 況	▲ 8.0	▲ 5.0	▲25.0	▲ 4.0	▲26.0
売 上	2.0	2.0	▲35.0	▲ 3.0	▲15.0
資金繰り	▲ 6.0	▲ 8.0	▲15.0	▲ 7.0	▲12.0

業 種 別 集 計 表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前 期 比 ～

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建 設 業	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービ業	合 計	
業 況	好 転	0	3	1	2	1	7	▲ 26.0
	不 変	6	36	8	5	5	60	
	悪 化	1	22	3	4	3	33	
売 上	増 加	2	12	2	3	1	20	▲ 15.0
	不 変	3	26	4	7	5	45	
	減 少	2	23	6	1	3	35	
資 金 繰 り	好 転	0	2	0	0	2	4	▲ 12.0
	不 変	7	46	11	10	6	80	
	悪 化	0	13	1	1	1	16	

景 況 の 推 移

(繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前 期 比 ～

	H27.7～9月	H27.10～12月	H28.1～3月	H28.4～6月	今 期 H28.7～9月
業 況	▲14.6	▲14.6	▲33.3	▲ 6.1	▲34.7
売 上	▲ 4.2	▲18.8	▲45.8	▲ 2.0	▲10.2
資金繰り	▲ 6.3	▲10.4	▲20.8	▲12.2	▲16.3

業 種 別 集 計 表

(繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前 期 比 ～

	事業所数	6	22	8	3	10	49	D I
		撚糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	そ の 他	合 計	
業 況	好 転	1	2	0	0	0	3	▲ 34.7
	不 変	3	10	6	2	5	26	
	悪 化	2	10	2	1	5	20	
売 上	増 加	2	6	1	1	2	12	▲ 10.2
	不 変	2	8	4	1	5	20	
	減 少	2	8	3	1	3	17	
資 金 繰 り	好 転	0	1	1	0	0	2	▲ 16.3
	不 変	5	18	5	3	6	37	
	悪 化	1	3	2	0	4	10	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建 設 業	○請負単価の低下・ 上昇難	○民間需要の停滞	○官公需要の停滞
繊維製造業	○需要の停滞	○製品ニーズの変化 への対応 ○製品(加工)単価の 低下・上昇難	○生産設備の不足・ 老朽化 ○人件費の増加
製 造 業 (繊維製造業は除く)	○需要の停滞	○生産設備の不足・ 老朽化 ○従業員の確保難	○製品(加工)単価の 低下・上昇難
卸 売 業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○商品在庫の過剰
小 売 業	○需要の停滞	○購買力の 他地域への流出	○消費者ニーズの 変化への対応
サービス業	○人件費の増加	○従業員の確保難	○利用料金の低下・ 上昇難 ○需要の停滞

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	1
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	1
請負単価の低下・上昇難	11
下請単価の上昇	2
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	9
熟練技術者の確保難	2
下請業者の確保難	3
官公需要の停滞	3
民間需要の停滞	10
その他	0
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	4
新規参入業者の増加	8
製品ニーズの変化への対応	33
生産設備の不足・老朽化	25
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	21
原材料の不足	0
人件費の増加	25
原材料費・人件費以外の経費の増加	11
製品(加工)単価の低下・上昇難	33
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	3
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	13
熟練技術者の確保難	20
需要の停滞	70
その他 (取引先移転による受注量の低下、為替の問題、経済が変わった)	8
合 計	275

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

『直面している経営上の問題点』の集計表

製 造 業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	6
生産設備の不足・老朽化	10
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	2
原材料の不足	0
人件費の増加	8
原材料費・人件費以外の経費の増加	2
製品(加工)単価の低下・上昇難	9
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	3
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	10
熟練技術者の確保難	6
需要の停滞	13
その他	0
合 計	69

卸 売 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0
商品在庫の過剰	6
人件費の増加	2
人件費以外の経費の増加	3
販売単価の低下・上昇難	9
仕入単価の上昇	3
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	2
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	2
需要の停滞	23
その他 (ネット販売業者の低価格競争)	1
合 計	55

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

『直面している経営上の問題点』の集計表

小 売 業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	7
同業者の進出	0
購買力の他地域への流出	10
消費者ニーズの変化への対応	8
店舗の狭隘・老朽化	2
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	1
人件費以外の経費の増加	1
販売単価の低下・上昇難	2
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	2
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	3
需要の停滞	13
その他	0
合 計	49

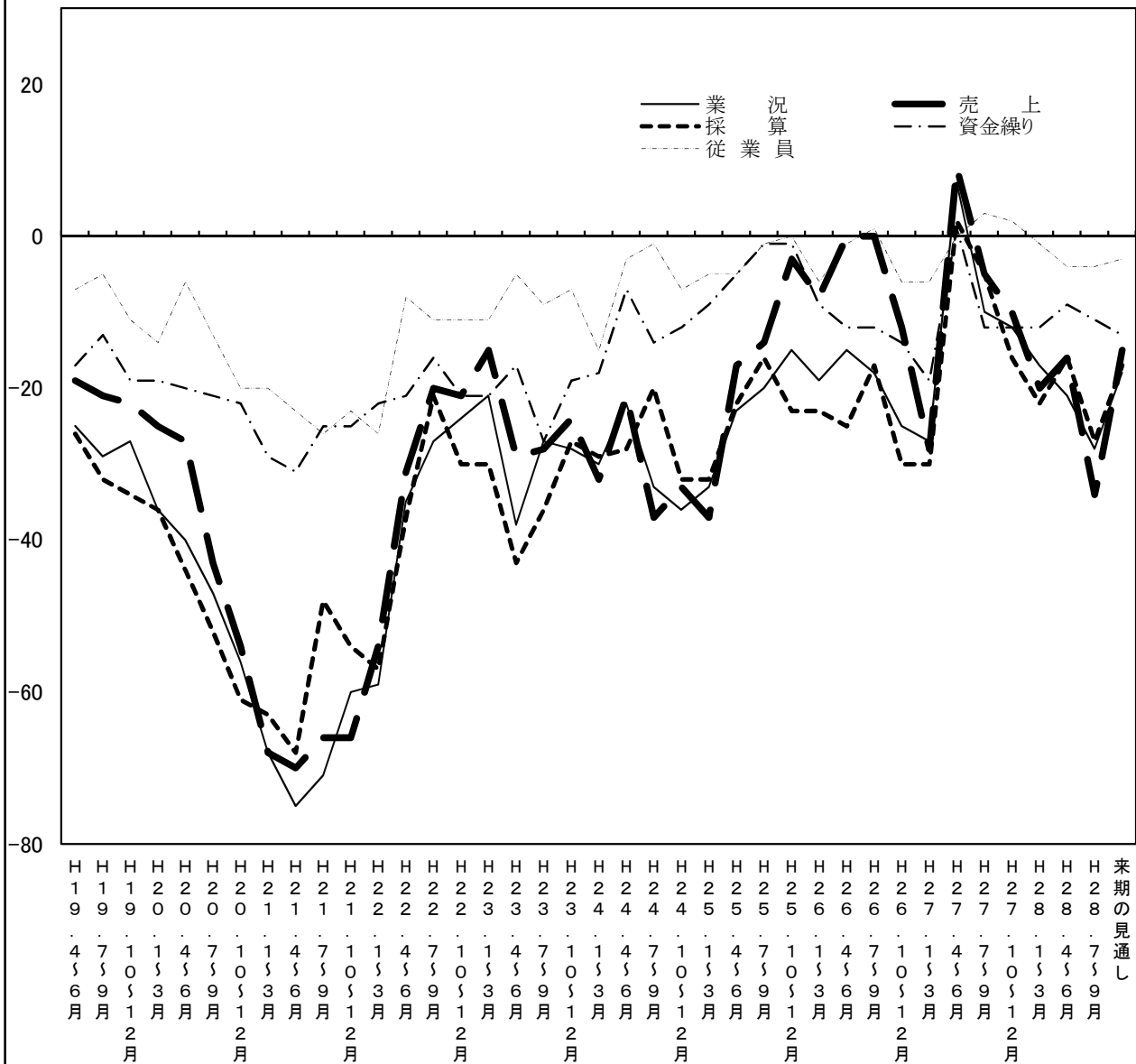
サ ー ビ ス 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
利用者ニーズの変化への対応	1
店舗施設の狭隘・老朽化	5
人件費の増加	13
人件費以外の経費の増加	0
利用料金の低下・上昇難	6
材料等仕入単価の上昇	3
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	10
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	6
その他	0
合 計	47

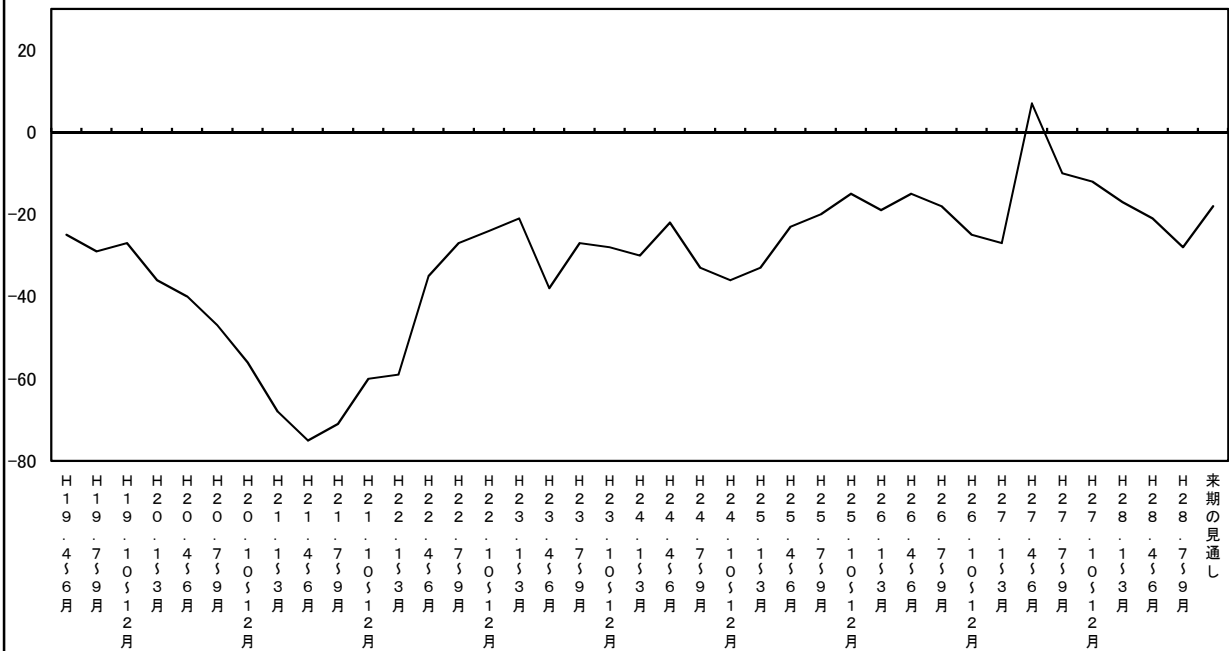
※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

图 1

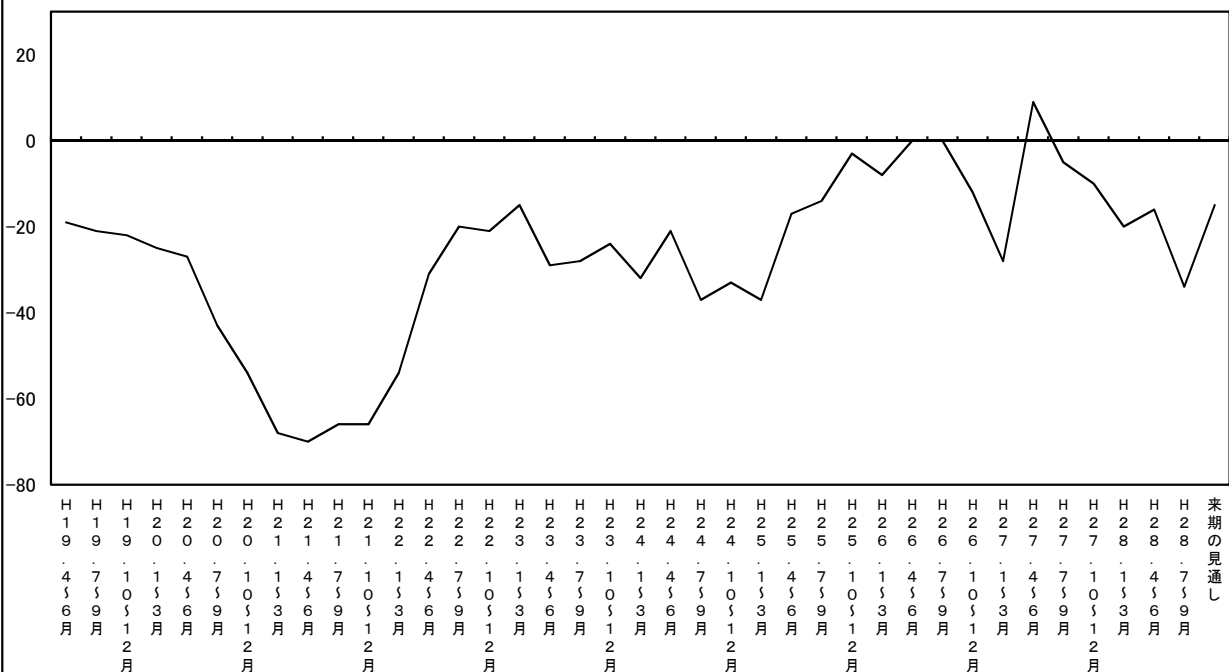
景況 DI (全業種)－前年同期比－



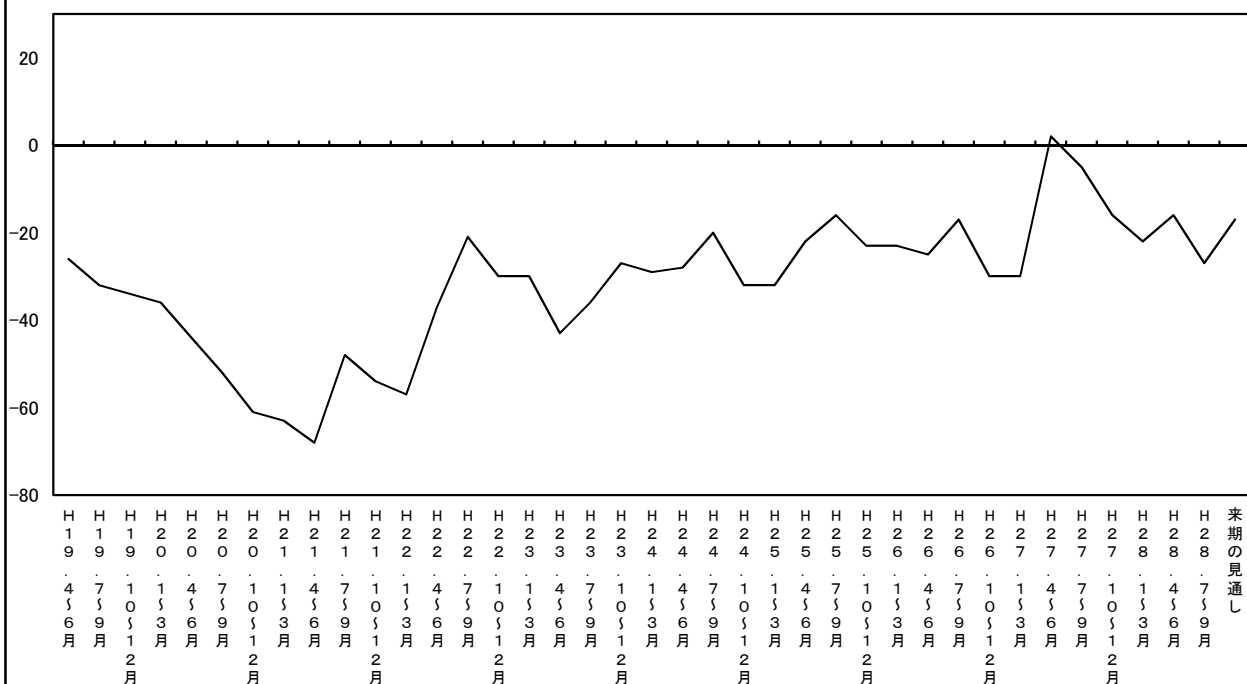
業 況 DI ー前年同期比ー



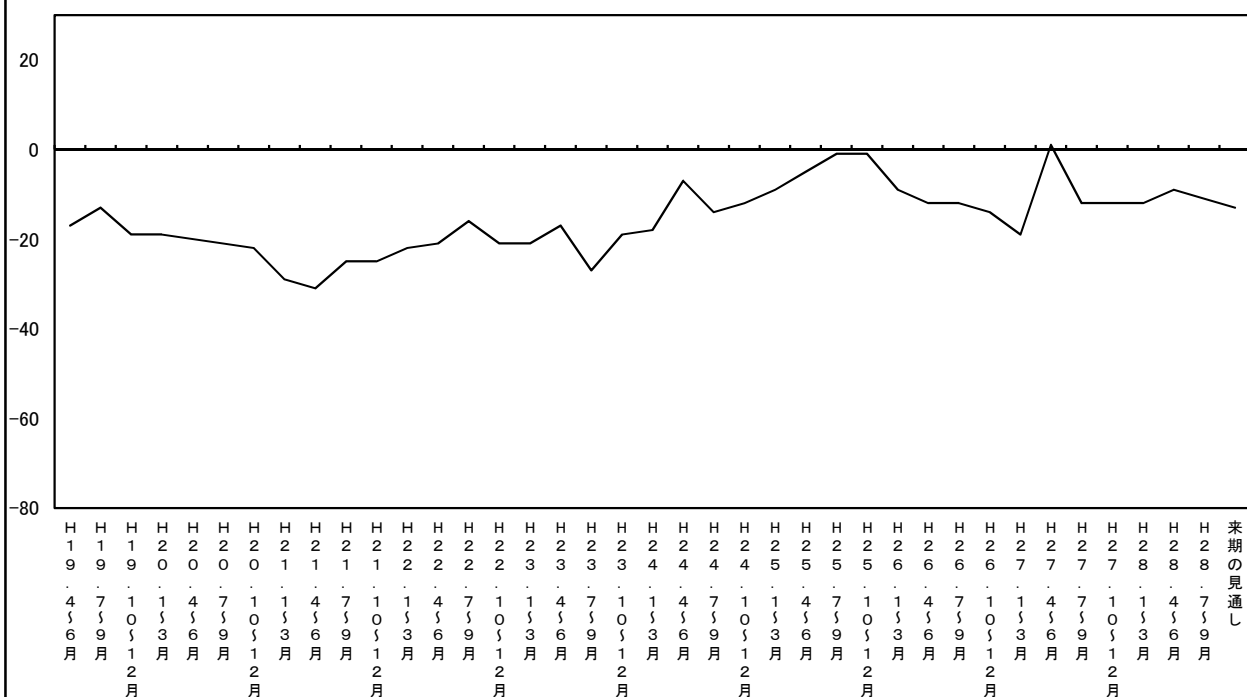
売 上 DI ー前年同期比ー



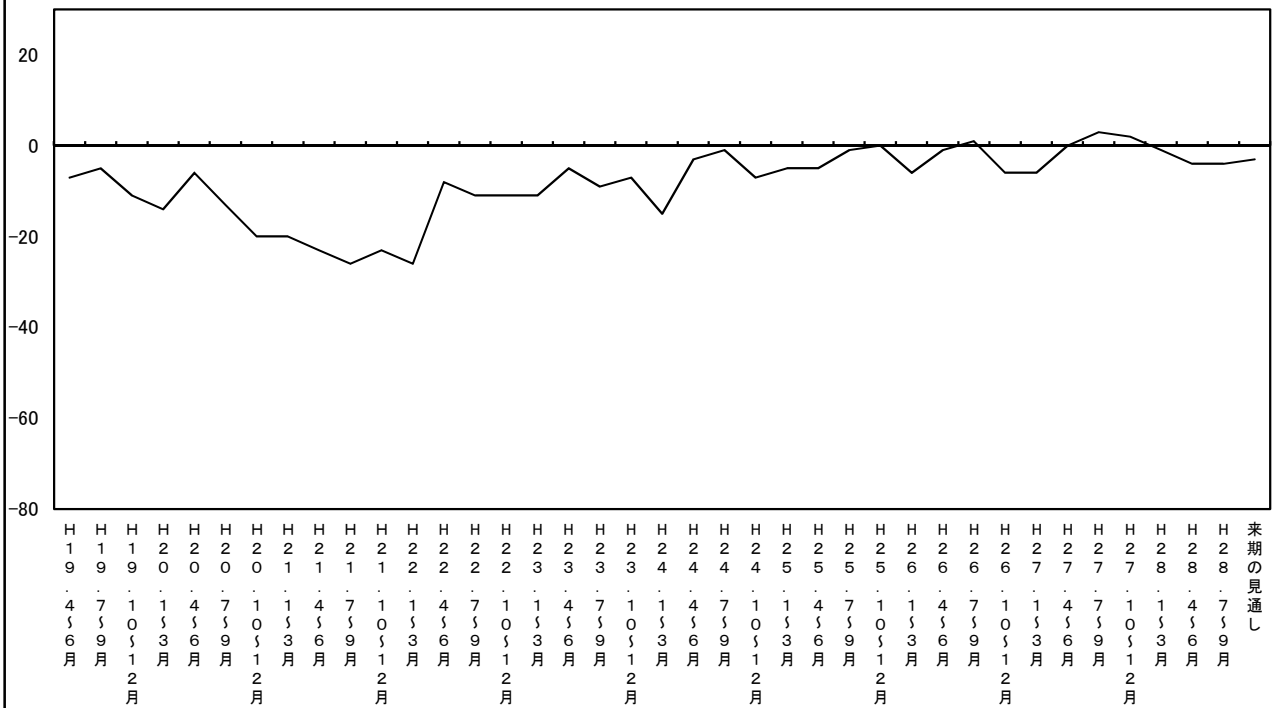
採 算 DI ー前年同期比ー



資金繰り DI ー前年同期比ー



従 業 員 DI ー前年同期比ー





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号(〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp